

第58回国連CSWにおけるサイド・イベントについて

国際婦人年連絡会 常任委員 平松昌子

昨年同様、日本政府国連代表部とNGOの共催イベントを実施する予定で準備中です。

◆CSW開催中に世界各地からNYに集まる女性たちの数は5000人を超すといわれますが、正確な数は分かりません。今年も3000人以上800団体が参加するとNGOCSW/NYは非公式ですが話しています。NYに集まる女性たちの役割は、①CSWで採択される合意結論にNGOとしての意見が盛り込まれるように申し入れをしたり、②世界各地で女性が直面しているさまざまな課題を世界にアピールするためのイベントを展開することです。今回、日本からの参加者数は、まだ把握されていません。30人以上と推定しています。

◆NGOが単独で実施するイベントをパラレルイベント、NGOと政府がジョイントして行うイベントをサイド・イベントと呼称していますが、両方合わせると例年500-600のイベントが展開されています。日本のNGOとしては政府とジョイントすることでより強いメッセージを世界に発信することが可能になるとして、これまで努力をしてきました。

◆今年のCSW主要テーマは、「MDGs(2000年に設定された開発目標)の最終年とされる2015年以降、女性問題として取り組むべき課題は何か」を検討することです。

日本のNGOとして、東日本大震災という厳しい経験をふまえて、「最近、増加傾向にある自然大災害での被害を減らすためには、女性のエンパワーメントが不可欠である」と主張し、その立場での提案をすべく準備を進めています。

◆これまでに日本の国連代表部による国連への手配で、イベントの日時と場所は決まりました。

日時は3月14日(金)午後3時～4時15分。場所は国連本部内のハマーショルド講堂です。由緒ある講堂でのイベント展開に少々緊張しているのは事実ですが、テーマは「自然災害のリスク削減と女性のエンパワーメント=Disaster Risk Reduction and Empowerment of Women」としました。「自然災害による被害を減らすためには、女性が防災計画の策定や、災害時の対応に当たることが不可欠で、そのために女性力の向上が重要である」ということをアピールする予定です。

◆提供される時間は75分であり、この間に日本の主張をアピールするために4名のスピーカーによるリレートークを予定しています。NGOの立場から、日本YWCAの久宗百合子さんによる「自然災害を生き延びるために、少女をエンパワーする総合的な教育を急ごう」という災害地での体験による提言、JAWWの織田由紀子さんが「ジェンダー平等と女性のエンパワーメントこそ災害に強い社会の鍵」ということで、女性の参画なしには災害に強い社会はできないと提言、さらに国際支援を進めているJICAから石渡幹夫さんが「東日本震災の教訓をどのように国際協力に活かすか」というテーマでの発言を準備しておられます。リレートークには政府の発言時間も設定していますが、この部分は調整中です。

◆発言の時期は3:11から3年目にあたります。犠牲者へのご冥福を祈りつつ、再び自然災害による犠牲者を生まないように真剣にこの提案を作成しました。

Draft

CSW58 Side Event “Disaster Risk Reduction and Empowerment of Women”

Date & Time: March 14th (Fri.) 3:00~ 4:15 pm

Venue: Dag Hammarskjöld Library Auditorium

Organized by: International Women’s Year Liaison Group / JAWW (Japan Women’s Watch) /
National Women’s Committee of UN NGOs in Japan/
the Permanent Mission of Japan to UN

Language: English

■ Moderator:

Masako HIRAMATSU: Vice Chair; National Women’s Committee of UN NGOs in Japan

■ Opening Remarks: Haniwa NATORI:

Ritsuko MIBAE: Convener ; International Women’s Year Liaison Group

■ Opening Address: To Be Announced

■ Speakers: (speaker’s order is not decided)

- (1) **Yuriko HISAMUNE**: Member of the National Committee on Disaster Response, YWCA of Japan
“**Empowering girls through holistic education is the key to overcoming natural disasters**”

Drawing from the experience of mental health care activities carried out by the YWCA of Japan during its disaster response project, this presentation will look into the situation of women in the affected areas through gender perspective and propose a way forward.

- (2) **Yukiko Oda**: Vice Convenor, JAWW; Researcher, Kitakushu Institute on Sustainability

“**Gender Equality and Women’s Empowerment: A Key to Disaster Risk Reduction**”

The presentation will explain how gender equality and women’s empowerment are essential for disaster risk reduction, based on experiences and lessons from the Great East Japan Earthquake in 2011 and post-disaster reconstruction.

- (3) **Mikio ISHIWATARI**: Sr. Water & Sanitation Spec. WB ; Sr. Visiting Advisor, JICA
“**Gender Responsive Disaster Risk Management: Lessons from the Great East Japan Earthquake**”

Sharing lessons in Disaster Risk Management (DRM) from a gender perspective by introducing Japan International Cooperation Agency (JICA)’s support activities in the aftermath of Great East Japan Earthquake(GEJE) and Japan World Bank(WB) joint research project on "Learning from Megadisaster". Also, acknowledging the importance of promoting gender responsive DRM in development assistance.

- (4) **Report from Japanese government side : To Be Announced**

■ Questions, Answers, and Comments:

■ Closing Address: To Be Announced